

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 016	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 可給態窒素の分析による水稲の施肥指導法の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】  水稲「はるみ」の収量と食味値の両立や、水田のほ場整備後の収量の早期回復が課題となっているが、水田ごとの具体的な施肥設計ができていない。これに対し、可給態窒素の分析が有効と考えられ、最近、国等により、簡易・迅速評価マニュアルが公表されたが、当地内では未導入である。 (A) このマニュアルを活用した指導方法を確立 (B) 生育中の水田土壌の可給態窒素診断による追肥技術の開発が必要である。	
解決希望年限	上記 (A) ①1年以内 (B) ②2～3年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ご要望にもあるとおり、農研機構から「水田土壌可給態窒素の簡易・迅速評価マニュアル」が公表されていますので、マニュアルを活用して現地指導します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			